

2022 年度 会津柳津学園中学校



自立・貢献・挑戦

柳学中 Times

教育目標

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和4年11月25日(金)発行

第30号 発行責任者：高橋 哲郎

がんばった！ふくしま駅伝

本当に、本当に、お疲れ様でした



20日(日)、しらかわカタールスポートパーク陸上競技場をスタートに、第34回ふくしま駅伝が開催されました。本校からは11名が参加し、7名が力走し4名が補助スタッフとしてチームを支え、柳津町チーム34年目の歴史に名をとどめました。

スタートは一般女子4.0km。全国的な長距離レースにも参加する選手がいる中、1区を担ったのが3年生の伊藤胡桃さんです。他のチームでも中学生は走っていますが、そのチームの女子のエースつまり強者ぞろいです。

こんな状況においても、胡桃さんは落ち着いた走りを見せてくれました。胡桃さんは、

「1区ということで、プレッシャーと緊張があり良い走りとは言えなかったけど、とてもいい経験になりました」

と振り返っています。

胡桃さんを含めて、受験勉強で忙しいにもかかわらず3年生から参加してくれたのが3名。2年生から3名。1年生から5名が参加。16区間中約半分の7名が中学生となりました。柳津町チームに心から拍手を送りたいと思います。

本当にお疲れさまでした。



【ふくしま駅伝の結果】 全体49位 町の部25位 タイム6時間16分34秒

1区4.0km 伊藤 胡桃 50位	7区5.4km 白井 悠人 50位
8区4.1km 橋本 猛虎 42位	9区3.0km 牧野 友香 28位
11区3.9km 鶴見 栞 45位	14区5.7km 新井田真宙 45位
15区3.4km 鎌田 美優 51位	

第2学期期末テスト終了！

ですが… 続けることが大切です。

本日期末テストが終わりました。「毎やるノート」(家庭学習ノート)の提出状況をみると、1学期と比較にならないほどよくなっているので、手応えがあったのではないかと考えています。結果が楽しみですですね。

さて、以前聞いた「アフリカのある祈祷師」の話を紹介します。

アフリカに必ず雨を降らせる祈祷師がいました。
噂を聞いて、干ばつの時に遠くの村からも雨乞いの依頼に訪ねて来ました。
何故、必ず雨を降らせることが出来たのか？
その祈祷師は、雨が降るまでずっと祈り続けたからだそうです。

そして、発明家でもある松下孝之助さん(パナソニックグループ創業者)は、こう述べています。「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる」。

この話からわかるように、「成功する人」は「成功するまで頑張った人」ということです。途中であきらめなかった人ということですよ。

目標に向けて頑張っているけど、すぐに成果が目に見えとは限りません。逆に、頑張っているけどなかなか成果が見えてこないことのほうが多いかもしれません。しかし、その時こそが本当にがんばるときです。あと少し続けていれば成果が出そうなときに、続けられずにやめてしまうことはありませんか？特に入試に向けた復習など、範囲が広い学習はなかなかすぐには成果が見えてこないものです。しかし、努力していれば必ず成果は出る、と信じて日々続けていくことができるかどうかです。

勉強、運動、あいさつ、整理整頓、朝自分で起きることなど、続けられそうなことは身近なところにたくさんあります。自分ががんばろうと思うことは何でしょう。続けることで達成してください。

密の回避

感染拡大防止！油断なく

健康管理の徹底

適切なマスク着用

手洗い・手指衛生の徹底

換気の徹底(バスの中も)

「第8波に入った」と言われています。改めまして、ご家族の方も含め体調が悪い場合(発熱、のどの痛みなど)は、登校を控え休養し、医療機関を受診してください。

